

むつ市議会だより

第4号

- 第152回臨時会……………P2
- 各委員会等の構成……………P3
- 任期半ばを終えて……………P4
- 第234回定例会 議案説明・質疑……………P6
- 賛否一覽……………P7
- 常任委員会活動報告……………P8
- 一般質問……………P10
- お知らせ……………P14

平成30年1月25日発行

ドローン空中散歩③ しもきた克雪ドームと釜臥山

第152回臨時会

平成29年10月30日

むつ市議会第152回臨時会が、去る10月30日に開かれました。今議会では、市議会議長に白井二郎議員、副議長に野呂泰喜議員が選出されたほか、各委員会等が組織されました。そのほか、1議案1報告が上程され、審議の結果、可決・承認されました。

就任のあいさつ

市民の皆様には、日頃からむつ市議会の活動に對しまして、深いご理解と力強いご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは、この度の第152回臨時会において、むつ市議会第26代議長並びに第22代副議長の要職に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、改めてその職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、急速な人口減少と少子高齢化という大きな問題に直面しており、産業振興、子育て支援等の施策を積極的に推進するとともに、医療の確保、交通の確保、教育環境の整備等を図り、安心・安全に暮らせるための生活基盤を確立する必要があります。



第26代むつ市議会議長

白井二郎



第22代むつ市議会副議長

野呂泰喜

本市では、これら多くの行政課題の解決に向け、むつ市総合経営計画に基づき様々な施策を展開しているところであり、執行機関である市当局と議決機関である議会とが二元代表制の車の両輪として、相互に一定の緊張関係を保ちつつ、建設的な議論を交わしながら「笑顔かがやく希望のまち むつ」の実現を目指してまいります。

地方分権が進み、議会の果たす役割や活動が、ますます重要になってきているなかで、平成25年6月に制定した「むつ市議会基本条例」の理念に基づき、積極的な情報発信と政策活動への市民参加の推進を念頭に置き、市民目線に立った公平・公正な議会運営に努めてまいります。

市民の皆様には「ここに住んでよかった、そしてこれからも住み続けたい」と思っていただけのように、全力を尽くす覚悟でありますので、今後とも、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

議案の説明

【議案第72号】平成29年度むつ市一般会計補正予算（744万7千円の増額補正）

〔歳出〕

・大畑小学校北棟耐震診断

（550万3千円）

・新体育館設計業務委託費変更

（194万4千円）

〔歳入〕

・市債

（650万円）

【報告第26号】専決処分した事項の報告および承認を求めることについて（平成29年度一般会計補正予算）（4050万円の増額補正）

衆議院議員総選挙の執行による、関係予算を増額補正したもの

新体育館完成予想図



総務教育常任委員会

(定数 9 名・◎は委員長、○は副委員長)
 総務部、企画部、財務部、出納室、教育委員会、議会、選挙管理委員会および監査委員の所管に属する事項ならびに他の常任委員会の所管に属しない事項について担当します。



◎石田 勝弘(71歳)
市誠クラブ・⑦



○中村 正志(48歳)
自民クラブ・⑤



横垣 成年(57歳)
無党派・④



目時 睦男(72歳)
無党派・④



大瀧 次男(68歳)
創世むつ・③



濱田 栄子(67歳)
自民クラブ・③



村中 徹也(58歳)
改革革新・⑥



川下 八十美(77歳)
創世むつ・⑪



白井 二郎(70歳)
公明・政友会・⑤

産業建設常任委員会

(定数 8 名・◎は委員長、○は副委員長)
 経済部、建設部、下水道部、農業委員会および公営企業局の所管に属する事項について担当します。



◎佐賀 英生(54歳)
創世むつ・②



○菊池 光弘(57歳)
公明・政友会・②



佐々木 隆徳(65歳)
無党派・④



野呂 泰喜(65歳)
自民クラブ・⑤



菊池 広志(61歳)
市誠クラブ・⑥



佐々木 肇(75歳)
自民クラブ・⑩



斉藤 孝昭(53歳)
改革革新・④



半田 義秋(70歳)
創世むつ・④

民生福祉常任委員会

(定数 9 名・◎は委員長、○は副委員長)
 民生部および保健福祉部の所管に属する事項について担当します。



◎鎌田 ちよ子(66歳)
公明・政友会・④



○原田 敏匡(42歳)
無党派・①



山本 留義(65歳)
無党派・⑥



工藤 祥子(70歳)
無党派・①



東 健而(71歳)
市誠クラブ・③



富岡 修(60歳)
創世むつ・⑤



浅利 竹二郎(74歳)
自民クラブ・④



富岡 幸夫(66歳)
改革革新・⑤



岡崎 健吾(64歳)
公明・政友会・③

議員の紹介 (H30.1.25 現在)

氏名(年齢)

所属党派・当選回数

※当選回数については合併前の旧川内町・大畑町・脇野沢村における回数を含みません。

一部事務組合下北医療センター議会議員

(むつ市議会から 8 名・◎は議長)

◎斉藤孝昭、工藤祥子、菊池広志、佐賀英生
 濱田栄子、佐々木肇、菊池光弘、岡崎健吾

下北地域広域行政事務組合議会議員

(むつ市議会から 10 名・◎は議長)

◎大瀧次男、原田敏匡、山本留義、目時睦男、野呂泰喜
 東健而、中村正志、村中徹也、半田義秋、鎌田ちよ子

議会運営委員会

(定数 7 名・◎は委員長、○は副委員長)

議会運営委員会では、次の事項について審査・調査します。

- ①議会の運営に関する事項
- ②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ③議長の諮問に関する事項

◎中村正志、○斉藤孝昭、菊池広志
 佐賀英生、富岡 修、佐々木肇、菊池光弘

任期半ばを終えて

任期半ばを終えて

平成29年10月15日で任期の半分の半分を迎えた各議員の想いを紹介します。

◎原田 敏 匡



議員として歩み出しあつという間の2年間でした。戸惑うことばかりでしたが、多くの方に支えられ任期の半ばを迎えられました。この間、総務教育常任委員会、決算審査特別委員会の副委員長を務め、実り多き2年間でした。

これまで9回の定例会では全て一般質問を行いました。質問に立つこと自体が目的ではありませんが、これからは市民の皆さまの暮らしの現実と課題を把握し、市民の声を土台とした質問に心掛けます。残り2年、少しでも市民生活を向上させるよう努めて参ります。

◎山本 留 義



私はふるさとむつ市が大好き、この街に住む人たちが大好き。一人でも多くの市民の笑顔が見える街づくりの為に、積極的に議員活動を行うつもりです。私自身の人脈を活かし、雇用拡大のため、永木精機株式会社の誘致、又子ども達の将来の夢を育むため、鹿島アントラーズの選手によるサッカー教室、関東学院大学野球部夏期合宿等を誘致してきました。今後においても議員の皆様と力を合わせ、宮下宗一郎市長と共にむつ市発展に努めて参る所存であります。

◎佐々木 隆 徳



少子高齢化により、人口減少が特に進んでいる脇野沢地区の現状を踏まえ、「地域振興や一般観光資源の掘り起こし」等、一般質問で取り上げてきました。地域で実施され、徐々にではありますが、形となって成果が現れてきているものと思っております。又、これまで再三、質問・要望してきた現在、休館中の脇野沢温泉は、4月開館の目処が立ち、安堵しておりますが、これからは地域の課題に全力で取り組み、努力して参ります。

◎工藤 祥 子



無我夢中で過ごしてきましたが、議会ごとに質問し、市民の声を届けようとしてきました。任期半ばの今日、2年間の私に寄せられた市民アンケートを読み返しています。暮らし、医療の悩み、子育ての要望等は当時よりも深刻になっているのではないのでしょうか。周辺住民にとってはなおさらです。

経済格差の広がり、地方経済の低迷の中にある今日、社会保障の負担増、給付抑制策から市民の暮らしを少しでも守るために、頑張り抜くには、どのようにしたらよいか、市民の皆さんと手をつなぎ進んでいきたいと思います。

◎横垣 成 年



情報公開条例による市の資料、日常生活圏域ニーズ調査集計報告書について、それは第7期(18年)20年介護保険事業計画の策定に当たり参考にするもの。私が注目したのは介護保険料についての結果、「介護保険施設の数が増やさないでも良いから、全体的に介護保険料の額を安くしてほしい」30.7%、「介護保険料の額も介護保険施設も現状のままでよい」12.5%。施設と保険料の抱き合わせの調査でも43%の方が「介護保険料は上げないでほしい」です。今後とも市民の声を市政に届けてまいります。

◎目時 睦 男



合併から12年の現在、「笑顔がややく希望のまち」のキーワードは「海峽サーモン」が高潮被害を繰り返しながら試行錯誤を続け、今は地域ブランドとして雇用拡大に繋げていることにあるように地場産業である農林漁業の振興発展にあると確信しています。

そのため、後継者難の農林漁業を六次産業化や、雇用の環境の改善を図る等、若者に魅力ある産業に活性化して雇用につなげることに地域文化の継承や人口減少の歯止めになり、活気あるむつ市に再生されることからその実現に引き続き努力します。

◎野呂 泰 喜



むつ市各位のご理解ご協力によりまして議員復活させて頂きました。むつ市議会副議長を務めております野呂泰喜でございます。

私の2年間の議員活動報告をさせていただきます。喫緊の課題と捉えております。むつ市の歳入および歳出の問題であります。財政論の基本であります現状の歳入の徹底した見直し、同時に歳入増を唱えております。また、西通り地域住民の悲願であります338号大湊バイパス問題であります。36年度供用開始を目指したいとの答弁を頂いております。これからも、よろしくお願いたします。

◎石田 勝 弘



2年前に多くの支持者からのご支援を賜り、七期目の市政壇上にお送りいただきまして誠に有り難うございます。議員は住民の代表として、議会活動を通して、市の意思を決定する重大な職責を持っています。

同時に、行政全般について監視するという役目も持っています。その為に常に市民の目線に立ち、その声を市政に反映できるように行動しています。その為の一般質問はこれまでの9回の定例会中7回行いました。今後の残任期間も、初心を忘れず、日々精進して参る所存です。

◎菊池 広 志



ジオパーク認定から、市民参加型下北住民が一体となり、ジオパーク活動が盛んになり、若男女が一緒に活動するようになってきた。

このことにより観光にも目を向けられ、海自カレーの出版も手伝い、下北全体が活気を帯びてきたように感じます。私も議員ならではの立場として積極的に発言し、むつ市民の一人ひとりがスキルアップを図れるよう、政治活動をしてゆき、また、下北縦貫道の早期完成、新体育館建設についても大いに議論し、市民にとって住みよい、住んで良かった街づくりの為に尽力するつもりです。

◎東 健 而



今回再選され、3回目の一般質問を終えた昨年9月のことだった。むつ病院で、医師から悪性リンパ腫、血液のガンを宣告された。まさに青天の霹靂である。急遽、県病に入院、化学療法を受けることになり、闘病中、幾度となく襲われた死の恐怖、また議員の責務を考えた時、何度議員辞職を考えたことか。だが、今年の5月、7か月ぶりにガンが完治し退院することができた。そして再び壇上に立ったこの喜び。残り2年、議員の自分を自問し、市民の皆様のために、これからも悔いなき議員生活を送りたいと思う。

早いもので、もう2年が過ぎたのかと云うのが正直な感想です。人口減少が顕著で大変危惧し、閉店する商店や旅館、子ども達の所に行くお年寄りの方を目の当たりにしますと、申し訳なさを感じます。批判を覚悟し、お許しを頂ければ、先ず、自分の住んでいる所を今一度再生し、旧町村を盛り上げて、むつ市全体の活性化に努力して行きたいと考えております。残りの任期を全力で駆け抜けて行きたいと思っております。

◎佐賀 英 生



人口減少が顕著で大変危惧していますが、これと言った対策を打っていないのが情けないです。閉店する商店や旅館、子ども達の所に行くお年寄りの方を目の当たりにしますと、申し訳なさを感じます。批判を覚悟し、お許しを頂ければ、先ず、自分の住んでいる所を今一度再生し、旧町村を盛り上げて、むつ市全体の活性化に努力して行きたいと考えております。残りの任期を全力で駆け抜けて行きたいと思っております。

◎富岡 修



任期前半を終えて印象に残っているのは新体育館の着工が決まったこと。市民の皆様のご要望であり、スポーツ好きの私にとっても待望の新体育館であります。そして新体育館から一人でも多くの子供達が夢に向かって羽ばたいて欲しいと思っております。

むつ市に於いても毎年のように人口減少が起きています。若者も減っています。若者の雇用促進に繋げるには企業誘致や新たな産業創出が必要不可欠です。これからは若者が働きたいと思う街、魅力ある街づくりを目指して頑張っていきたいと思っております。

◎大 瀧 次 男



多くの皆様のご支持、ご支援を頂き、三期目も任期半ばとなりました。この間市民の皆様と約束していた皆様の声を行政に伝えるために、一般質問では「少子化対策について」「高齢者の生活支援について」等の多岐に渡り質問を致しました。市長並びに理事者の皆様方からは、しっかりと答弁を頂き、市民の皆様への負託に応えるために最大限の努力をして参りました。残り任期、次世代につながる「まちづくり」の為に最大限の努力をして参ります。

◎中 村 正 志



議会として、次の選挙から議員定数を4人削減し22人とする条例を大多数の同僚議員とともに可決できたことが大きな成果だと思っています。私個人としては、むつ市の財政、地域経済の活性化、シニアプロモーションの取り組み、地域コミュニティ活動の活性化、教育現場の充実、学力の向上などを一般質問で取り上げ議論しました。また、広報広聴委員として、議会だよりの単独発行、議会報告会の開催に取り組みました。二元代表制の一翼を担うむつ市議会は、持てる力を最大限に発揮できていない、もっと出来ることがあると感じています。残りの任期において制度的なことも含めて、むつ市のために活動して参ります。

◎瀧 田 栄 子



半年二年間は、産業建設常任委員長を任せていただきました。一年目の平成28年9月9日は、当地域が、日本ジオパークネットワーク加盟が認定された記念の年となりました。二年目の平成29年9月25日は、大畑町魚市場完成式に立ち会うことが出来ました。どちらの事業も思いを込めて見守ってきた事業であります。今後は、歴史文化、地の利を活かした産業に力を注ぎ、世界ジオパークも視野に、持続可能な街づくりに全力を尽くしたいと思います。

◎浅 利 竹 二 郎

平成27年10月30日、臨時議会において第25代むつ市議会議長に就任させて頂きました。議長



の重責に身の引き締まる思いと同時に、公務の多さには正直そんな多忙の日々の日程を調整し、何とかそつなく処理し得たのは、副議長の適宜適切な助言と、事務局長を始め局員皆さんの真摯な支えのおかげであります。この度、一身上の都合により議長職は辞任いたしました。二年間ご協力頂いた議員の皆様には改めて感謝を申し上げますと共に、白井議長益々のご活躍を祈念いたします。

◎佐 々 木 肇



平成27年10月4日執行のむつ市議会一般選挙において、10回目目の当選を果たしましたことはひとえに地域住民を始め広く市民の皆様のご支援ご支持の賜であり深く感謝するところであります。さて、議会においては、議会運営委員会、産業建設常任委員会に所属し、市長より都市計画審議委員会委員、市有牛貸付事業運営審議委員会委員を委嘱され、又一部事務組合下北医療センター議会議員としてむつ市産業経済、医療の充実、医師不足解消等々議案審議、施策等を通して、宮下市政には是々及び臨んでいます。今後喫緊の課題は、少子化、超高齢社会の取り組みであり、行政と共にこの難題に取り組みでいく所存であります。

◎斉 藤 孝 昭



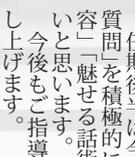
【二年間の主な質問内容】①企業版ふるさと納税および創生推進交付金について②人工透析の必要な方の環境整備について③行政のリスクマネジメントについて④医療と介護の連携について⑤庁舎内で政党機関紙の配布、集金を市議会議員が行なっていることについて⑥待機児童の解消について⑦住民登録外課税について⑧教職員の労働環境の改善について⑨小学校の部活動のあり方について【所属委員会および役職】会派代表、産業建設常任委員、広報広聴委員、議会運営委員、下北医療センター議会議員。

◎村 中 徹 也



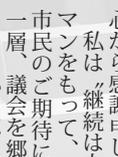
選挙時に市民に公約しました「議員定数の削減」と、紙資料をなくす「タブレット導入」を提案し実現の方向です。議員には「予算執行権」や「議会招集権」等は原則的に存在しませんが、限定的な権限の中で「通年議会」や「会議時間」の変更等

◎川 下 八 十 美



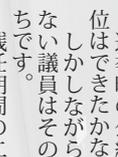
を提案する考えです。任期後半は今以上に、市民目線の「一般質問」を積極的に行い「魅せる質問」「魅せる内容」「魅せる話術」をもって皆様の信頼に応えたいと思います。今後とも指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。早いもので、今期の任期も半ばを終えようとしています。省みれば、27才の最年少であったのが、通算11期、50年が経過した。度重なる選挙にもかかわらず、ご支援ご支援助りました親愛なる市民に、この機会に心から感謝申し上げます。私は、継続は力なりをモットーに、勇気とロマンをもって、誠心誠意職務に専念し、議会が市民のご期待に添えるよう渾身の努力を致し、一層、議会を郷土むつ市に奉仕する強い決意をここに心の芯より誓うものであります。

◎半 田 義 秋



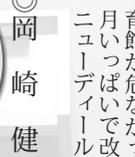
任期二年を振り返りますと、今は亡き、菊池前川内町長の懸案事項でありました川内上水道の完成を見たことは行政側に感謝です。下北地域広域行政事務組合の監査委員として、決算審査特別委員会の委員長として、又国保運営委員としてこの二年間務めを果たして参りました。選挙時の公約も市長始め行政側に物申し半分位はできたかな?と思っております。しかしながら、市民の皆さまは一般質問をしない議員はその務めを果たしていないと思いがちです。残り二年間できる限り一般質問をしたと思っています。

◎菊 池 光 弘



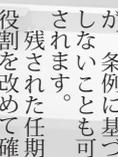
私がむつ市議会議員になったのは、東日本大震災が起きた年で、むつ市民が「安全・安心」に暮らせるむつ市を創る為でありました。学校は子どもたちが一日の大半を過ごす学びの場であると共に、災害時には近隣住民の避難所となります。避難所となる体育館は昨年まで天井、バスケットゴール、スピーカー等の「非構造部材」

◎岡 崎 健 吾



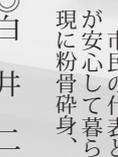
落下などで、市内小中学校合わせて6校の体育館が危なかつた状態でありましたが、昨年2月いっばいで改修終了。これからは、防災・減災・ニューディールを訴えていきます。下北医療センター議会の監査委員に就任してから二年が過ぎ、毎月一回の例月出納監査や決算に関わる事務協議等で、多忙ではあったものの充実した二年間でした。以前、川内病院で六年間経理事務を担当し、苦勞した経験が現在非常に役に立っています。今年六月の改正地方自治法等の成立により、これまで義務付けられていた議会選出監査委員が、条例に基づき地方議員から監査委員を選任しないことも可能となり、平成30年度から施行されます。残された任期は、議会選出監査委員の意義や役割を改めて確認する機会としたい。

◎鎌 田 ち よ 子



私は、この二年間「副議長職」を拝命。大きな試練でしたが、自分を外から見直すチャンスで公務を通して多くの事を学ばせていただいた皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。今、少子超高齢化・人口減少社会の加速で福祉や医療サービスのある雇用確保、地域の防災力の強化など私達議員に課せられた責務は重く、また、むつ市の将来を担う若い力を育てることも大きな課題です。市民の代表として、女性の視点を生かし皆様

◎白 井 二 郎



5期目の任期も残り2年となりましたが、この間、多くの皆様からご支持、ご支援を賜り、感謝申し上げます。私は、まちづくりの主役は、市民の皆様であることを念頭に置き、常に多くの声に耳を傾けるよう心掛けてまいりました。誰しもが、住んで良かった、これからは住み続けたいと思えるまちを、皆様とともに目指してまいります。残りの任期も市民目線に立ち、議長として公平・公正な議会運営に努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

第234回定例会

平成29年11月28日～12月21日

むつ市議会第234回定例会が、去る11月28日から12月21日までの24日間の会期で開かれました。今定例会では23議案・1報告（うち1件が議員提出議案。9ページ上段に内容を掲載）が上程され、審議の結果、その全てについて可決・報告されました。



議案説明・質疑

主な議案の内容についての説明と、その議案に対する質疑および答弁について紹介します。

議案の説明・質疑

【議案第73号】むつ市ふるさと納税寄附金基金条例の一部を改正する条例

ふるさと納税返礼品の魅力向上を図るため、サービス提供型商品を追加するもの

【議案第74号】むつ市地方卸売市場大畑町魚市場条例の一部を改正する条例

地方卸売市場大畑町魚市場の移転に伴い、施設の使用等に関する条文整備をするためのもの

【議案第75号】地方卸売市場大畑町魚市場基金条例の一部を改正する条例

地方卸売市場大畑町魚市場に係る基金の積立てに関する条文整備をするためのもの

【議案第76号】むつ市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

道路法施行令の一部改正に準じ、市の道路占用料の額等を改正するためのもの

【議案第77号】むつ市野菜集荷貯蔵施設条例を廃止する条例

平成30年3月31日をもってむつ市野菜集荷貯蔵施設を廃止するためのもの

○質疑 利用者数や経費の現状は。

▼答弁 昭和58年の供用開始時は使用料収入が年間約200万円あったが、野菜農家数の減少等により平成28年度の使用料収入は5万円以下に落ち込んでいる。今後も収入が増加するとは考えられず、また施設の維持に年間約80万円が必要であり、建物の老朽化が著しいことから、今回廃止することとなった。

○質疑 廃止後の利活用は。

【議案第78号】むつ市林業研修集会施設条例を廃止する条例

平成30年3月31日をもってむつ市林業研修集会施設を廃止するためのもの

○質疑 利用者数や経費の現状は。

▼答弁 昭和59年の供用開始からほとんど利用されることがなく、水道光熱費も発生していない。

○質疑 廃止後の利活用は。

▼答弁 倉庫として利用可能なことから、当面は川内庁舎の書類等の倉庫として活用する。

【議案第79号】指定管理者の指定について

むつ市海と森ふれあい体験館の指定管理者に特定非営利活動法人シエルフォレスト川内を指定するためのもの

【議案第80号】指定管理者の指定について

むつ市中心障害者ふれあいの家の指定管理者に特定非営利活動法人アックス工房を指定するためのもの

【議案第81号】指定管理者の指定について

大畑中央公園、むつ市兎沢スキー場の指定管理者に一般財団法人むつ市教育振興会を指定するためのもの

○質疑 通常の指定管理の期間は3年だが本案で2年になっている理由は。

▼答弁 現在、市の屋外体育施設はむつ地区と大畑地区に分けて指定管理者を公募しているが、今後は市全体の体育施設の運営管理の効率性など公共施設の管理の適正化を検討するため、指定管理期間を統一する必要がある。

むつ市奥薬研修景公園およびむつ市営業研温泉露天風呂の指定管理者に大信産業有限会社を指定するためのもの

【議案第86号】下北地域広域行政事務組合規約の変更に関する協議について

下北地域広域行政事務組合で共同処理する事務のうち、下北地域広域市町村圏振興整備に関する計画の策定およびその計画実施のための連絡調整に関する事務を削除するためのもの

【議案第87号】市道路線の認定について

開発行為により市に帰属した路線等について、2路線を市道として認定するためのもの

【議案第88号】定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について

大間町、東通村、風間浦村および佐井村との間において締結している当該協定の、地域内外の住民との交流および移住促進の分野に、婚活支援の推進を追加するためのもの

【議案第92号】平成29年度むつ市一般会計補正予算(2億2304万8千円の増額補正)

【議案第93号】平成29年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算(571万4千円の増額補正)

【議案第94号】平成29年度むつ市介護保険特別会計補正予算(170万4千円の増額補正)

【報告第27号】専決処分した事項の報告について
平成29年10月18日に発生した自動車事故について、和解し、損害賠償の額を定めたもの

【議員提出議案第4号】道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書(←次ページに全文掲載。この意見書はむつ市議会より12月21日付で衆参両議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・国土交通大臣に提出いたしました。)

【総務教育常任委員会】

○12月13日付託議案審査

付託された6議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第79号 指定管理者の指定について(むつ市海と森ふれあい体験館の指定管理者を指定するためのもの)

問 人件費の個別の支払い予定額について。
答 来年度からの指定管理者の管理運営の中で決められるものであり、現段階では明確になっていない。

・議案第88号〜91号 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(大間町・東通村・風間浦村・佐井村)

問 想定している事業についておよびこれまで各町村で個別に取り組んでいる事業について。
答 想定している事業については、今年度実施した「しもきた恋物語」を平成31年度まで実施

する予定としている。各町村で個別に取り組んでいる事業については、佐井村等で実施していると伺っている。

【産業建設常任委員会】

○12月13日付託議案審査

付託された10議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第76号 むつ市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
問 減額改定となった理由は何か。
答 国の定める占用料の額は固定資産税の評価替

えと、地価に対する賃料水準の変動等を踏まえた各市町村の固定資産税評価額を基礎とした道路の価格に使用料率等乗じた算出式となっており、むつ市の地価平均価格が全体的に下落傾向となっているため、占用料も減額改定となる。

・議案第78号 むつ市林業研修集会施設条例を廃止する条例
問 利用実績について。
答 利用者は全くなかった。

・議案第82号 指定管理者の指定について(脇野沢瀨野牧野外9施設の指定管理者を指定するためのもの)

問 いのししの館の名称について。
答 建設時に農林水産省の補助金が入っているため、名称は変えることができません、愛称や通称として別の名称が使用できないか検討中である。

・議案第83号 指定管理者の指定について(地方卸



第1回
しもきた恋物語

平成29年
10.21[sat]-22[sun] 泊2日

対象者
20代から40代までの独身男女各15名
※男性はむつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村在住の方のみが対象となります。

■参加費/男性5,000円、女性2,000円(食事代・宿泊費込み、1日ホテル集合制に拠る)
■集合/1日目は9:50までにプラザホテルむつへ
■申込/切/平成29年10月13日(金)まで
共催/むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村
担当/しもきた恋パーク事務局 むつ市企画調整課

道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

道路は、市民の生活や経済・社会活動を支えるとともに、市民の安全・安心を確保し、地域活性化を図るうえで必要不可欠な社会資本であるが、本市は下北半島地域の拠点都市として重要な役割を担っているものの、広域的な幹線道路・市道等の整備が未だ不十分な状況にあり、大規模災害時などには孤立集落等発生する恐れがあり、道路網のより一層の整備促進が喫緊の課題となっている。

道路整備にあたっては、財源確保が最も重要であり、財源に対する措置として「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」(以下、道路財特法)の規定による補助率の嵩上げがあるが、この措置はこれまで本市の道路整備においても多大なる寄与を果たしている。

しかしながら、この道路財特法による嵩上げ措置は平成29年度までの時限措置であり、このまま期限切れとなれば、道路整備のための地方の財政負担が増加することとなり、その進捗が一層の遅滞を招くとともに、地方創生及び国土強靱化の推進にも大きな影響を与えられ、地方自治体にとっては死活問題になりかねない。

よって、国においては、来年度以降も迅速かつ着実な道路整備を推進するため、下記の措置を講じられるよう強く要望する。

記

1. 道路整備に必要な予算の拡充を図ること。
2. 道路財特法の規定に基づく補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も継続すること。

売市場大畑町魚市場の指定管理者を指定するため
のもの)

問 指定管理者の収支計画が増額となっている理由は何か。

答 現在大畑町漁協所属の中型船の大半が八戸港に荷揚げしている凍結イカを、順次新魚市場へ荷揚げしていく計画により増額となっている。



大畑町魚市場

・ 議案第84号 指定管理者の指定について(むつ来さい館外2施設の指定管理者を指定するためのもの)

問 指定管理料について。

答 平成26年度から平成28年度までの実績を考慮し、平成29年度より126万5000円減額し積算している。

・ 議案第85号 指定管理者の指定について(むつ市奥薬研修景公園外1施設の指定管理者を指定するためのもの)

問 施設ごとの指定管理料について。

答 施設ごとの指定管理料は積算しておらず、総額として568万円である。

(所管事務調査)

(1)ふるさと納税返礼品の生産者について①(サンマールワイナリー現地視察)

【民生福祉常任委員会】

○12月13日付託議案審査

付託された4議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・ 議案第80号 指定管理者の指定について(むつ市中心障害者ふれあいの家の指定管理者を指定するためのもの)

問 平成28年度の利用者数が、平成27年度より約1500人少ないが、その理由は何か。

答 ほとんどの平日に作業室を利用していた団体の活動がなくなったため。

・ 議案第81号 指定管理者の指定について(大畑中央公園外1施設の指定管理者を指定するためのもの)

問 費用対効果を考え、鬼沢スキー場を廃止する考えはないか。

答 むつ市スポーツ施設整備計画において、管理修繕を行い、利用人口の推移を見ながら施設のあり方を検討することとされているほか、むつ市公共施設等総合管理計画においても、地区や施設の特性等を総合的に判断し、地域住民の意見を聴取しながら検討していくこととしている。

(所管事務調査)

(1)新しい介護予防・日常生活支援総合事業について

ここが聞きたい!

一般質問

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。
各種の行政課題を取り上げて4日間にわたり14人の議員が活発な論戦を展開しました。

市誠クラブ

東 健而



問 人口減少社会をどのように捉えているか。旧町村部は限界集落の危機を迎えているが。

答 人口減少は、時代の大きな流れとして今後も続いていくが、労働生産性を向上させることで、市はまだまだ成長できると考えている。

問 今後の市の人口推計と課題は。

答 2015年の市の総人口は5万8493人、2060年には2万8508人まで減少。地区ごとでは、むつ地区2万3485人、川内地区1562人、大畑地区2846人、脇野沢地区508人まで減少すると推計。人口減少の進行は市民生活に大きな影響を及ぼす。総合経営計画において「人口減少対策の推進」を主要課題と位置づけ、市民の皆様と協働で取り組むべき最重要課題として「しごとづくり」や「誇れる地域づくり」をはじめ、市全体が成長するための取り組みを一層推進していく。

創世むつ

佐賀英生



問 小中学校のいじめ・不登校の状況はどうなっているのか。

答 いじめは、一昨年度は3件、昨年度は20件であった。本年度は11月末現在9件で増加傾向だが、学校側が軽微でも積極的に報告するようになり、それだけ真剣に取り組んでいる意欲の表れと考えている。不登校は、昨年度は50名、本年度は10月末現在42名となっており、ピーク時(平成22年度)の100名の半数となっている。

問 大畑地区市営住宅について。

答 むつ市公営住宅等長寿命化計画に基づき、今後の整備手法を計画しており、外山団地は2026年度までの本計画以降に優先的な建て替えを前提とし、当面は適正な維持管理に努めていく。

無党派

工藤祥子

問 就学援助の中学校入学準備金が、今春から入学前支給に早まったが、小学校入学児童に対して、3月支給に早めるべき。

答 今年度の国の交付要綱改正もあり、今後研究していく。

問 川内川遊歩道が、昨年8月の台風被害により一部通行止め。いつ復旧するのか。

答 利用者の安全確保には相当大規模な改修が必要。改修時期については市全体の観光施設改修計画の中で調査研究する。年間観光入込客数100万人の目標達成のため欠くことのできない施設。

問 核兵器禁止運動が盛り上がりつつある今日、被爆地広島市長を会長とする平和首長会議の組織も世界中に広がっている。国内では94%以上、青森県内でも40のうち38自治体が加盟している。むつ市も加盟すべき。

答 多くの団体での役割を担っており、新たな役はつとめを果たせない状況。これへの参加のみが平和への貢献活動とは考えておらず、米国籍姉都市交流や自衛隊員に寄り添う対応も平和貢献と理解している。

一般質問の内容を一部要約してご紹介します。

公明・政友会

岡崎健吾

問 川内地区のスクールバスについて。

答 地域の実情や保護者のご意見を伺いながら、スクールバスの運行について改めて検討する。

問 学校体育施設開放事業に係るAEDの設置場所について。

答 AEDの設置場所や緊急時の対応について、教育委員会および各学校とも情報を共有して検討する。

問 小学校におけるランドセル使用は義務化しているのか。

答 義務化はしていない。

問 川内川の中州について。

答 今年度、一部で撤去工事を実施したが、来年度も堆積している土砂の撤去を、河川管理者である青森県において引き続き実施することである。



創世むつ

大瀧次男

問 斗南藩史跡の整備について。

答 観光施設の整備については、市全体の整備・改修計画の中で優先順位を勘案しながら、順次整備・改修を進めていく。

問 北の防人、ジオパーク、斗南

落ゆかりの地巡りの観光コースを確立し、誘客策を展開することについて。

答 むつ市ならではの食を提供する店舗も観光ルートに組み込み

魅力的な観光スポットをストーリー性を持つて組み立てていく。

問 市所有の遊休資産の現状について。

答 山林や原野など利活用が難しい財産が大半だが、財政健全化の一環として民間への売却、貸し付けを検討していく。

問 高齢者の生活支援について。

答 高齢者の皆様が住み慣れた地域で、安心して生活を送るために、市民の皆様への意識づけや、意欲の向上を図りつつ、生活支援を行うボランティア団体、住民組織の育成と活動を後方支援することで、地域全体の運動につなげていくことができるものと考えている。

自民クラブ

濱田栄子

問 林業の現状と今後の取り組みべき課題について。

答 森林面積が市の面積の85%を占めるむつ市において、森林は木材を供給する資源として地域産業や生活を支えてきました。貴重な森林を守り、育て、後世に引き継いでいくことも、重要な責務と考えている。林業生産額は増加傾向にあるが、就業者数は、10年間で18%減少している。林業就業者の確保、育成が今後の取り組みべき課題と考えている。又、森林所有者の高齢化や、世代交代しても登記が行われず、所有者不明の森林や境界が不明確な森林が増加し、整備に支障をきたしている。国の森林法一部改正に伴い、市も平成31年4月までに森林台帳を整備し課題解決に取り組んでいく。



公明・政友会

鎌田ちよ子

問 マイナンバー制度。マイナンバーの活用について。

答 マイナンバーは、自身の個人情報状況が確認でき、子育てを始めとする行政手続きが可能となる政府が運営するオンラインサービスだが、今後の状況を見極めながら研究したい。

問 教育のIT化に向けた環境整備の現状について。

答 本年度、苦生小と関根中で試験的にタブレット端末を導入し活用している。効果を検証し、順次タブレット端末の配備を進める方針。教職員の育成に努め、2020年度までに市内全小中学校にタブレット端末の導入を検討している。



※このほか、「重度心身障がい児への支援について」「子どもの健全育成について」の質問がありました。

無党派

横垣成年

問 市民が介護保険事業者に言っても思うようにならないとか、事業者とのトラブル等はどのよう処理されているのか。

答 サービス内容の要望は介護サービス事業者又はケアマネジャーに相談するのが最初。事業者に相談しづらい場合は、市の介護福祉課や包括支援センターが相談窓口。市は関係機関と連携して対応している。

問 品ノ木から大曲へ伸びる市道(旧農道)の凹凸が大変危険な状態にある。抜本的な凹凸解消の動きがあるのか。

答 市は、随時維持補修等を行い適切に管理しているが、昨年度から青森県が事業主体となり整備が始まり、昨年度は道路路面調査等の全体計画策定、今年度は地質調査および交通量調査等の詳細設計を実施し、来年度からは本格的な工事着手の予定。延長が長いため2工区に分割して実施し、今回の事業は第三田名部小付近より大曲までの延長約2.6キロメートルを第1工区として、5年程度かけて整備する予定。

一般質問

公明・政友会

菊池光弘

問 学校避難所強化について。

答 平成24年7月に、青森県建設機械リース業協会むつ支店と締結した「災害時における資器材リースの協力に関する協定書」により、避難所強化を図っていく。

問 学校施設の「長寿命化」について。

答 平成23年に耐震改修工事は完了しているが、将来的な計画は2020年までに策定を予定している。

問 除雪車にGPS導入について。

答 GPSシステム導入における概要、運用した上でのメリット・デメリット等の情報収集に努め、導入に向け研究していく。

問 ジュニア救命士育成講座開催について。

答 救命率向上につながるものと認識している。関係機関と連携を図り研究していきたい。



市誠クラブ

石田勝弘

問 地域住民の心の拠り所となっている脇野沢地区のコミュニティセンターなど老朽化した集会施設の補修などを急ぐべき。

答 施設は昭和40～50年代に建築されたものが多い。これまでも応急的に修繕してきているが、利用状況や緊急性を見極め総合的に検討していく。

問 国保加入者の特定健診の受診率を上げる対策について。

答 平成27年度と28年度の受診率はそれぞれ27.5%、31.1%と3割を超えているが、県平均の35.5%を下回った。健診の無料化など現在の取り組みに加え、健診会場や回数の見直しなど、受診率の向上に向けた施策を検討、実施していく。



改革革新

村中徹也

問 むつ市の食材の中から「一品超ブランド化」戦略で地産地消や地域振興を図ろう。

答 「大間IIマグロ」等の知名度の高いブランド商品は、自然な形で消費者ニーズやマスコミ等の頻度で形成される。むつ市のお土産品を売り込む過程でブランド商品が醸成されると思う。

問 観光集客および民間施設に無料通信「WiFi」を整備しよう。

答 観光施設や公共施設では一部を除いてほとんど整備されている。民間主要ホテル等も整備されている。これからは整備に力を入れる。

問 「銀婚・金婚・プラチナ婚式」を市主催でお祝いしよう。

答 市主催敬老会で88歳以上のご夫婦をお祝いしている。記念日のお祝いは「ご家庭」「ご家族」で開催することで感激も増すのではないかと考える。



自民クラブ

浅利竹二郎

問 超高齢社会がもたらす市政運営および地域社会への影響は。

答 労働力不足や産業の衰退に伴う地域経済の縮小、医療費、介護費などの社会保障費の増大、介護人材不足に伴う家族一人ひとりの介護負担の増大、担い手不足による地域コミュニティの機能低下などが挙げられる。

問 出合いの場の積極的な提供等婚活支援は。

答 下北圏域定住自立圏の形成協定の一部を変更し、5市町村が連携して婚活事業に取り組む組織「しもきた恋パーク」を設立。10月21日、22日に婚活ツアーを開催、5組のカップルが成立した。

※このほか「人口減少にみる社会の変遷とむつ市の取り組みについて」に関係した8点の質問がありました。



無会派

原田敏匡

問 むつ市が維持管理費の全額を負担している下北文化会館の管理を下北地域広域行政事務組合から移管する考えはないか。

答 移管となると、まずは設置者である下北地域広域行政事務組合において議論されるべきものであり、現在そのような議論には至っていないと伺っている。

問 新たな子育て支援の提案

① 子育て応援企業認定制度の導入について

② 第二子以降の出産に対する経済的支援について

③ 特定不妊治療にかかる費用への一部助成について

答 今後の子育て支援の一つとして、調査研究していく。

問 むつ市総合福祉センターふれあいかんの利活用について

答 助成金の使途制限はあるが、健康増進や福祉の向上での利活用を残しているのであればこれ以外の利活用も可能。今後は、むつ市公共施設等総合管理計画に基づき、重点的取組事項の一つである大畑地区の公共施設の見直しの中で検討。

自民クラブ

中村正志

問 新学習指導要領への対応について。

答 小学校では2020年度から、中学校では2021年度から実施となる。今回の改定では小学校において、情報活用能力の育成の一つとしてプログラミング教育が、3・4年生では外国語活動、5・6年生では外国語科が新たに導入される。来年度からの2年間は移行措置期間とし、3・4年生で年間15時間を確保し外国語活動を、5・6年生では従来の35時間に新たに15時間を加え年間50時間を確保し外国語科の内容の一部を、それぞれ実施します。むつ市において外国語教育を充実させ、「主体的に社会・世界と関わりながら未来を切り拓いていく子ども」を育てていきたい。

※このほか「シティブロモーションについて」「子どもの貧困対策について」「大学入試改革への対応について」「学校ICT化の現況について」の質問がありました。



議会を傍聴してみませんか

本会議は誰でも傍聴することができます。

市民の代表である市議会議員と市当局との議論のやり取りを、

直接見たり聞いたりすることができますので、

傍聴は議会活動や市政方針を知るうえで最も身近な方法といえます。

傍聴される方は、本会議当日に議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。

交付を受けた方は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができます。

傍聴を終え、退場する際には傍聴券を返却してください。

傍聴席は30席あり先着順です。

【詳しくは】むつ市議会事務局 ☎22-1111 内線 3612

第5回むつ市議会議会報告会および市民との意見交換会を開催しました！

去る、平成29年11月7日(火)・8日(水)の2日間、市内6会場にて第5回むつ市議会議会報告会および市民との意見交換会を開催しました。
延べ65名が参加し、今回の意見交換のテーマ『人口減少対策について』、各会場では活発な意見交換が行われました。



11月8日(水)・近川集会所



11月7日(火)・むつ市中央公民館



11月8日(水)・むつ来さい館



11月7日(火)・脇野沢地域交流センター



11月7日(火)・川内庁舎多目的ホール



11月8日(水)・大畑公民館

第235回定例会の予定

- 2月21日(水) 本会議(開会)・常任委員会
- 3月2日(金) 本会議(一般質問)
- 5日(月) 本会議(一般質問)
- 6日(火) 本会議(一般質問)
- 7日(水) 本会議(一般質問)
- 8日(木) 本会議(議案質疑ほか)・予算審査特別委員会・常任委員会
- 9日(金) 常任委員会・予算審査特別委員会
- 12日(月) 予算審査特別委員会
- 13日(火) 予算審査特別委員会
- 16日(金) 本会議(閉会)

※2/16の議会運営委員会にて決定いたします。

議会のうごき

10月	13日 青森県市議会議長会「知事を囲む懇談会」
2日 広報広聴委員会	全国市議会議長会基地協議会第89回理事會
4日 青森県市議会議長会議員研修会	14日 全国過疎地域自立促進連盟第133回理事會および第48回定期總會
10日 会派代表者會議	20日 防衛省全国情報施設協議會要望活動
12日 全国市議会議長会基地協議会東北部会役員會	21日 広報広聴委員会
16日 広報広聴委員会	24日 議会運営委員会
20日 全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役會	28日 第234回定例会開會・議会運営委員会・常任委員会
23日 全国市議会議長会基地協議会東北部会第25回定期總會	12月
25日 会派代表者會議	5日 広報広聴委員会
26日 議会運営委員会	7日 本会議(一般質問)・議会運営委員会
30日 第152回臨時會・議会運営委員会・常任委員会	8日 本会議(一般質問)・議会運営委員会
11月	11日 本会議(一般質問)・議会運営委員会
1日 広報広聴委員会	12日 本会議(一般質問)・議会運営委員会
7日 議会報告会および市民との意見交換會	13日 本会議(議案質疑ほか)・議会運営委員会・常任委員会
8日 議会報告会および市民との意見交換會	21日 第234回定例会開會・議会運営委員会
9日 青森県市議会議長会第2回定期總會	25日 広報広聴委員会

むつ市議会はホームページやフェイスブックで積極的に情報発信を行うことでより身近で開かれた議会を目指します

【ホームページ】



<http://www.city.mutsu.lg.jp/index.cfm/40.html>

【facebook】



<https://www.facebook.com/mutsushigikai/>

編集後記

新年あけましておめでとうござい
ます。
今年はどうな出来事が待っている
のでしょうか。願わくば、明るい話題
の多い一年になって欲しいものです。
むつ市議会では任期の半分を終
え、各常任委員会も改編され、後半
に向けてスタートしました。また、
記事の中では各議員の想いも載せて
います。
今後とも広報広聴委員会として、
紙面の充実に努めるとともに、新た
な挑戦を始めていきたいと思いを
むつ市にとって、市民の皆さまに
とって、よい一年でありますように。
広報広聴委員長 中村 正志